

INTERKYOTO

インターキョウト



【雪の中の塔 右京区（大沢の池）】

1999.1. No.9

京都情報サービス産業協議会

京都情報サービス産業協議会会員の皆様へ

新年のご挨拶

京都府知事 荒巻 禎一



雲外蒼天を望む

府民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
新たな世紀の幕開けを間近に控え、今私たちは、世紀末の苦難の時代を迎えているといえます。長引く経済不況や来るべき本格的な高齢社会への対応など、これまでの我国の社会経済システムの改革が強く求められ、その産みの苦しみの中にあるものといえます。

このような中で、私は昨年改めて府民の皆様から信任を受け、この厳しい不況を何としても乗り越えたいと懸命の努力を重ねてまいりました。「今年こそ回復を」の強い思いを持って、中小企業向けの金融対策やきめ細かな雇用の確保、新産業の創出、農林水産業の振興対策などを積極的に進め、活力ある地域社会を築いてまいっている覚悟であります。

一方、京都府では新世紀の息吹を感じさせる事業が着実に進んでおり、昨年は、京都縦貫自動車綾部～舞鶴大江間の開通、新山城大橋の開通など交通網の整備

が大いに進むとともに、日吉ダムの竣工や丹後あじわへの郷のオープンをはじめ、関西文化学術研究都市の中核施設となる国立国会図書館関西館（仮称）着工や京都迎賓館の整備促進、さらには福祉・医療・教育など府民生活を支えるきめ細やかな施策の実現を通して、二十世紀最後の十年を計画期間とする第4次京都府総合開発計画（4府総）は、概ねその目標を達成しつつあります。

また、時代の大きな変化の中で、少子・高齢化の急速な進行や地球環境問題など、新たに対応すべき課題を的確に捉え、豊かで、安心できる京都府社会を築いていくために、これまでに築き上げてきた様々な社会資本を活用しながら福祉や環境などソフト面をより重視した新たな総合計画として「二十一世紀・地球時代の京都ビジョン」の策定に着手したところです。

いつの時代にあっても、住民の安心・安全を確保することは行政の最も重要な責務です。昨年は、台風7号などにより大きな被害を被りましたが、このような

災害への対応をはじめ、来年から導入される介護保険の円滑な導入に向けた体制づくりや昨年策定した環境基本計画による環境対策などに全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。

今年は、地方分権の動きが一層具体化してまいりますが、地方の時代にふさわしい内容となるよう市町村とともに働きかけを強めるとともに、従来にも増して簡素で効率的な行財政システムを確立し、府民の皆さんと総力をあげてこの混迷の時代を切り開き、希望に

満ちた、ひと、まちも、産業も、まさに「やさしくてたくましい地球時代の京都府づくり」に向け邁進してまいりたい決意であります。

新年にあたり、皆様の変わらぬご支援をお願いいたしますとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

雲外蒼天

いまは暗雲低迷の状況だが、
その困難を乗り越えれば必ずや快い青空が望める

協議会の平成11年新年会を開催する

- 会長、両副会長の年頭挨拶 -

昨年から開催している賀詞交換・新年会は今年も1月12日に平安会館の平安の間で開催され。会員の40名が出席し、協議会の白石会長、小島副会長、小室副会長からそれぞれ年頭の挨拶があり、引き続き事業協同組合の田中理事長の乾杯のご発声で和やかな雰囲気なかで会員各位相互に新年の抱負、今年の協議会活動への期待などそれぞれの思いを語り合い懇親を深めました。



— 白石会長の新年挨拶 —

皆さん新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、会員一同がこの場に介して新たな決意を互いに誓い合うことは、大変意義のあることと思っております。



昨年は混迷の度を一層深めた年でありました。2000年問題、情報化の推進に支えられ我々の業界は堅調に推移しました。しかし、昨年の夏以降は我々の業界もマイナス成長に転じ、当協議会にもその影響が現れ、残念ながら脱会がありました。

我々の業界は情報化社会の中で前途は揚々たるものがあり、当面の短期的は景気サイクルを如何に乗り切っていくのか、高度情報化社会に向かって何を行うのか、この2点に集約されるのではないのでしょうか。

景気も底を打っている様であり今年はいざなぎ年ですので確実なジャンプでかつ、いい年(11年)でありますように願い、会員各社の発展の上で当協議会の発展も約束されるのであって、会員の皆さんの益々のご発展を心から祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

— 小島副会長の新年挨拶 —

1999年の新春を協議会の皆さん共々、お慶び申し上げます。

21世紀まであと2年と成りましたが、この間を21世紀へのステップとしたいと思います。京情協の皆さんと明るく過ごしていきたいと思っております。

世の中は喧しいことが多すぎますが、グローバルス



タンダードとかメガコンペなどに代表される時代背景の中であって、ユーロなどでにも見られる様な合唱連呼が行われまして、またも経済圏のブロック化が進む年ではないかと感じております。

しかし、我々の業界は今の時代の流れに添って白書などの紹介では情報通信分野が国内総生産の一角を超えたとあり喜ばしいことでもあります。このことが経済界でのリーディング産業になる明かしであり、生産性の向上のための情報提供と同時に、ニュービジネスを立ち上げていき雇用の創設を図っていく業界であると認識しており、その場に身をおいている我々は喜びたいと思っています。

中小企業でもグローバルな動きを忘れてはなりません。過去を見つめ将来展望をしていくことは重要なことであり、あくまで我々なりのどこかに忘れられているニッチな世界にも目を向けながら商売は継続していかなければなりません。

私は協議会副会長の任務を仰せつかっていますが、白石会長の発足当時からの方針に従って逐次進展してきた協議会であり京都の情報サービス業界の中心となることは間違いないことであり、21世紀を見据えて協議会の発展のために一つ一つ着実にお互い進めることを申し述べまして新年のご挨拶とします。

—小室副会長の新年挨拶—

あけましておめでとうございます。先ほどからも、業況のお話がありましたように、昨年から今年に掛けてマスコミの上でも大変な年でありました。夜が明けることは無く何とか正月を迎え、今年も10日余りが過ぎてしまい事が早く進むと思います。

現在、世の中を支えていますのが“電子”と“通信”と“人間”との絡み合いであると言えます。いろいろな経済予測がされていますが、実態は非常に厳しい内容で推移していくことと思います。

この状況の中で当協議会活動が連帯しながら強く、元気で歩まなければならないと思います。そのために各社がこの逆境においても次の一手でどのように対応していくかを考えることが重要であります。長い時間の流れから考えればこの2、3年の状態はほんの短い時間であると思います。努力すれば報われる日があると思います。

昨年の講演会でお世話になった伏見工業の山口総監督から近況報告とカンパ支援の礼状がきていました。皆さんによるしくとのことでしたのでこの場をかりてご報告いたします。



昨年10月に開催された秋期総会において、 法人化準備委員会の機関設置が承認される

当協議会が発足して6年目のスタートとなる総会が京都リサーチパーク内の会議室において開催され、平成10年度上半期の事業報告、会計報告について承認されました。また、法人化検討委員会から全会員に協議会の法人化適否の審を問うための「法人化検討報告書」が佐々木法人化検討委員長より総会に報告があり承認され、その検討委員会を発展的に解消し、法人設立を具体的に推進するための法人化準備委員会の設置が全会一致で承認されました。

総会の開催に先だって白石会長からは、過去一年間の新入会員は無く残念ながら停滞の感があり、戦後最

大の不況にあっても他の業界に比べれば我々の業界は元気がある状態であり2000年問題の特需が寄与している。この間に景気が回復することを期待したいが、現在は利益無き繁忙の状態にあり、ここから脱却して利益ある繁忙としていくためには、相互に研鑽を重ね、互いに英知を絞って行かなければ我々が目指している京情協の法人化もさることながら地域の発展のエネルギーは生まれて来ない。活力ある京都の発展に対して行政の方々と結束し、多くの業界からも期待されている立場でもあり、地域に貢献出来る業界団体の早期設立に着実に取り組み、6年目の総会を記してさらに大

きく成長するスタートとしたい旨の挨拶がありました。

また、来賓の方々からのご挨拶をいただきました。京都府商工部産業推進課の阿部聡課長様からは、これからはハード側からの発想とユーザー側からの発想が結びつけられてきた様々な事業形態へと変化する中で情報化に対する行政の役割としての政策提言を受けて京都府の情報化推進となる動きをしていく。この中で社団法人化の検討がされることは業界の存在意義を高めることになることのご挨拶を頂きました。

また、中小企業総合センターの山下晃正課長からは最近の府下業界の話題性のあるお話を含めたご挨拶をいただきました。

総会併催行事で「インターネットマルチ会場大会」を京都産業情報センターと共催する

総会終了のあと今年の地域高度化事業として(財)京都産業情報センターの設立20周年記念事業として行われた「インターネットマルチ会場大会」に当協議会が共催しました。



舞鶴、けいはんなプラザ、中央会場との3会場を結んだ双方向のテレビ会議システムで産業振興の新たな方向性を探る場に200名の参加者を得て行われました。

会員交流会（技術部会の主催） 「ソフトウェアの品質向上について」

平成10年11月、京都商工会議所の会議室にて、日本電気(株)ソフトウェアデザイン研究所の宮下洋一郎を講師に招き、「ソフトウェアの品質向上について」と題して講演をしていただきました。会員35名が聴講し、講演に先立ち、会員5社の事例発表がされ京都

電子計算、島津エス・ディー、日新システムズ、ユニシス、ワールドビジネスセンターからの品質管理に関する取り組みの実際



について解説、説明が行われました。その後の宮下先生の講演は事例の評価もしていただき、より実践的、現場の視点にたった内容でお話していただき会員相互にとっても非常に有意義な技術交流会となりました。

会員交流会（経営部会の主催） 「プロジェクト管理者の育成について」

平成10年12月の会員交流会は経営部会の主催で、ビル6光にて「プロジェクト管理者の育成について」滋賀大学講師(京都ソフトウェアアプリケーションのSE統括課長)の孝本達哉先生を招いて講演会を開催しました。

実務経験を踏まえた内容で身近な言葉で講演いただきました。参加会員はこのあと忘年会に繰り出し、一年間の交流の締めくくりに思いを語り合いました。

新会員募集のご案内

弊協議会では法人化団体への足がかりとするため京都府下の情報サービス関連企業の方々を対象に会員数の倍増を目標に入会勧誘運動を展開しています。

同業界の方々との厳しい経済状況のもと、地域に根ざす企業活動の一貫として公共性の観点からも微力ながら協議会運営を行っています。新たな会員のご紹介、協議会へのご質問などがございましたら、下記の事務局または会員企業の方々までお知らせください。

京都情報サービス産業協議会 事務局
(京都電子計算(株)内)

TEL: 075-241-5568

私たちは、
人と企業を結ぶ

[Active Interface]

情報の表現方法

を追求します。

For more information

<http://www.adpro.co.jp>

ad-pro

AD PROVISION CORPORATION

アド・プロヴィジョン株式会社

●本社 E-mail:office@po.adpro.co.jp
〒604-8223 京都市中京区新町四条上ル三放ビル
TEL.075-256-3377(代) FAX.075-256-7041

●東京事務所 E-mail:t-office@po.adpro.co.jp
〒107-0062 東京都港区南青山2丁目22-14 フォンテ青山206
TEL.03-5414-5831(代) FAX.03-5414-5833



KRC

(株)近畿リサーチセンター

所在地 京都市中京区烏丸通り夷川上ル
京都商工会議所ビル5F

TEL 075(211)2256 ■ FAX 075(211)2258

近畿リサーチセンターでは京
都・滋賀の不動産業向けに物
件情報をオンラインサービスで
提供しております。

不動産物件検索システム REON

□住宅、マンション、土地、店舗の情
報提供(売買物件)

□京都・滋賀の不動産統計資料の提供

不動産広告データ収集

KRC(不動産データ作成)

物件検索



中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)

設立:平成3年4月

【事業内容】

- ・コンピュータのソフトウェアの開発・販売
- ・コンピュータの運用ハードウェアの販売
- ・計算受託

【主な開発実績】

- ・販売管理システム
- ・人事管理システム
- ・リース管理システム
- ・校納金システム
- ・在庫管理システム
- ・融資ファイリングシステム等
- ・生産管理システム
- ・保証業務システム
- ・経営情報システム
- ・見積システム
- ・原価管理システム

私たちはニーズのさらに一歩先を探り、高度情報化社会の次代戦略をサポートします。刻々と進化する高度情報化社会。先進テクノロジーを駆使し、情報スペシャリストを結集して、多様化し高度化するニーズにお応えします。私たち中信コンピューターアンドコミュニケーションは、いま、未来への飛躍をサポートします。



〒601-8034 京都市南区東九条南河辺町34番地
(中信事務センター3F)
Phon(075)662-5521 Fax(075)662-5522

MODUS

当社の名称であるモーダスは、アルファベットでは「MODUS」と表します。このMODUSは、Multi Original Design with Ultimate Senseの頭文字をとっています。これを日本語に訳すと「究極の感覚をもった色々なオリジナルデザイン」といったところでしょうか。この言葉を実現するべく、多種に渡ったデザインというものに取り組んでいる会社がモーダスです。デザインというとアート系のものが想像されることが多いのですが、当社ではコンピュータのシステムもひとつのデザインだと考えております。京都や大阪を中心として大型コンピュータを使ったシステムからパソコンを使ったネットワークシステムまで幅広く対応します。ただ作るだけではなく、ある種の美しさを持ったシステムを作りたいと心がけております。

またインターネットに代表されるように、現代は情報というものに価値があるということが認識されてきております。その価値をさらに高めるにはどうすれば良いか、どうすれば使ってもらえるかを考え提案していくのが当社の仕事であると考えております。今のようにイントラネットが当たり前のように普及するということは、数年前には想像もできなかったはずですが、これらは人間が持つ素晴らしい知恵を形に表したものと行って良いでしょう。やはりデザインという分野は広いのですが、やっておもしろいのは、コンピュータのシステムをデザインすることだと思っています。

最近のコンピュータの世界は日々進歩しており、常に最新の情報を入手できるようにし、またこちらからも情報を提供できるようにしたいと考えておりますので、この京都情報サービス産業協議会の会員の各社様のご指導をよろしくお願いいたします。

株式会社 モーダス

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目2-8
丸一ビル4F
Phone:03-5687-0391 Fax:03-5687-0369

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-6-2
西村ビル5F
Phone:06-347-9020 Fax:06-347-9092

〒6168-223 京都市右京区常盤西町18番地
CAVIN-ONE 2F
Phone:075-862-7081 Fax:075-862-7090

会員各社様の紹介掲載記事募集のお知らせ

毎年、2回発行しています当協議会の会報誌は、全国のANIA会員団体へも発送し、会員活動の様子を広報しています。この紹介欄は全国の同業者への情報提供にも役立ち、ビジネスチャンスを得る機会にもなります。次回には是非、御社の紹介記事を事務局までお寄せ下さい。
(企画広報部会・編集より)